

当院にて矯正診断を受けられた患者さんへ

1. 当院では「不正咬合者における食品と咬合力評価について」という研究を行っております。これは、様々な食品に関してよくかめるかどうかの質問（以下、食品アンケート）をさせていただき、その際に、上下の歯が咬むことによってできる歯の圧痕の位置と咬む力を調べ、矯正治療の診査、診断に用いるとともに治療の進行状況や成果を知るための研究です。

以下の内容をご確認ください。

2. 調査の対象となるのは、当院に平成19年9月から平成20年7月の期間に東京歯科大学千葉病院矯正歯科に来院され、診断を受けた患者さんのうち、食品アンケートにお答えいただき、“デンタルプレスケール”を用い、咬んだ状態を調べさせていただいた患者さんです。

（“デンタルプレスケール”とは咬合力測定感圧フィルムの通称で、厚さ97マイクロメートルのポリエチレンで、咬んだ状態を記録する専用の極薄のフィルムです。）

3. 調査内容は、治療前、矯正装置除去時、除去約1～2年経過時の食品アンケートとデンタルプレスケールであり、圧痕の増加および咬む力を調査し、食品アンケートとの関連を調べます。

4. 本研究の成果は学会や学術雑誌に発表を予定しておりますが、その際に患者さんの個人情報公表されることはなく、個人情報は守られます。

5. 本研究についてのご質問あるいは疑問がある場合には、いつでも下記研究代表者、あるいは問い合わせ窓口にご連絡ください。

研究担当者

須田 永子（レジデント）

茂木 悦子（病院教授）

問い合わせ窓口

〒261-8502

千葉市美浜区真砂 1-2-2

東京歯科大学千葉病院矯正科

電話：043-270-3903